



## 危険なサイン 見逃さないで！

食欲の秋。一段と食べ物がおいしい季節が近づいてきましたね。みなさんの中で意外なものでアレルギー症状を引き起こした経験がある方はいらっしゃいますか？ワンちゃん・ネコちゃんも、“いつ、どんなもので”アレルギー症状を発症するか分かりません。滅多に起こることはありませんが、予防接種時のワクチンによって引き起こされるワクチンアレルギーというものがあります。ワクチン接種後から30分以内で反応が起きる**即時型アレルギー(アナフィラキシー)**は、意識低下、立ち上がれない、低体温、歯肉が白くなる、呼吸困難などの症状を引き起こし命に関わる恐ろしいアレルギーです。また、1～12時間後に反応が起きる**遅延型アレルギー**は顔がパンパンに腫れる、蕁麻疹、皮膚の発赤などが起きます。ワクチンを接種した後は激しい運動を避けて1日安静にして、よく様子を見てあげてください。もし「ワクチンアレルギーかな？」と思う症状が出たときは、すぐに連絡していただき、病院に連れて来て下さい。万が一、ワクチンアレルギーが起こっても今回お伝えした知識があれば冷静に適切な対処がとれると思いますので是非覚えておいて下さい。

## トリミング室より

9月より当院の『Instagram』を始めました🐾トリミングのお預かり中やシャンプー、カット後などの色々な写真を不定期で更新していく予定ですので、ぜひチェックしてみてください❀



## 小鳥の部屋

鳥の病気シリーズ⑤  
～トリコモナス症～

トリコモナスという寄生虫が鳥の口の中、食道、そのう内に寄生する病気です。軽い場合は口を気にしたり、あくびのようなしぐさや頭を振るしぐさが見られる程度で、無症状なこともあります。悪化すると膿瘍ができて元気・食欲がなくなったり、くしゃみや結膜炎の症状が見られるようになります。通常は内服薬で治りますが、発見が遅れると命にかかわるほど重篤化することがあります。ちなみに時々質問されるのですが、人間の性病のトリコモナスとは全くの別種なので、トリコモナス症の鳥と接触したからといって人が膾トリコモナス症になるわけではありません。

## お知らせ

### 院長、ゆきこ先生休診情報(現時点)

- 10月13日～14日  
⇒ゆきこ先生、東京での鳥学会参加のため休診
- 11月2～4日  
⇒院長、東京での整形外科セミナー参加のため休診
- 11月8日  
⇒院長・ゆきこ先生、佐賀での九州地区学会参加のため休診
- 11月15日午後～17日  
⇒院長・ゆきこ先生、大阪での動物臨床医学研究会年次大会参加のため休診

